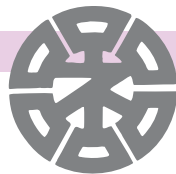


ねむろ 市議会 だより



NEMURO CITY COUNCIL NEWS

発行／根室市議会

根室市常盤町 2-27 根室市議会事務局
TEL (0153) 23-6111 FAX (0153) 24-5820
E-mail: gikaijimukyoku@city.nemuro.hokkaido.jp

主な 内容

6 月定例月議会

「一般質問」 9 人 ②

5 月緊急議会・6 月定例月議会

会議日程及び質疑内容等 ⑦

議会活動・委員会活動 ⑩

根室市議会からのお知らせ ⑫

議会まめ知識 ⑫

第57号

令和 8 年(2026)
8 月 1 日



北海道議会議員選挙における根室市選挙区の区域維持に係る要望活動（令和 8 年 5 月 12 日）



令和 8 年度根室市議会報告会（令和 8 年 5 月 20 日）



和田屯田兵村の被服庫見学（令和 8 年 6 月 20 日）



文教厚生常任委員会行政視察
（令和 8 年 6 月 29 日～7 月 2 日）

6 月定例月議会を開催しました

6 月定例月議会が 6 月 16 日から 19 日までの 4 日間の日程で開かれ、一般質問には 9 人が登壇し、物価高騰対策やヒグマ対策、人口減少問題など市政の課題について幅広く質疑を行いました。提案された議案は、市職員の特殊勤務手当や企業立地促進条例の一部改正案、厚床ふるさと館や柏陵校区義務教育学校の整備工事請負契約、除雪グレーダー等の財産取得など 22 件で、総務経済、文教厚生両委員会および予算審査特別委員会での審査の結果、令和 8 年度一般会計補正予算案（第 1 号）を含め、いずれも全会一致で可決しました。

また、今議会に上程された意見書案は「地方財政の充実・強化に関する意見書」など 4 件で、全会一致または賛成多数でいずれも可決しました。

なお、5 月 20 日の 5 月緊急議会では、国民健康保険税条例の一部改正案や移動図書館車の取得など 3 件を審議し、いずれも可決しました。



6 月定例月議会
（令和 8 年 6 月 16 日～6 月 19 日）

「一般質問」概要

6月定例会議会では9人が一般質問を行いました

※掲載している質疑の内容については、質問した議員自らがまとめたものであり、詳しい質疑内容は、市ホームページに掲載予定です。

一般
質問

市政クラブ

中村 久 議員



資機材不足が市行政に与える影響と対応について

問 公共施設整備や建設現場において、建設資材の調達遅延等の影響は出ているのか伺う。

答 中東情勢の影響により、全国的に建築資材の価格高騰や調達に遅延が生じているものと認識しているが、現時点では発注済み工事において進捗等に支障をきたすような影響は生じていない。

問 指定ごみ袋における原材料価格や供給体制への影響、在庫管理について伺う。

答 原材料価格の高騰に伴う単価上昇は見込まれるが、現時点では供給そのものが困難な状況にはない。現在の在庫量はおおむね半年程度の需要に対応できる数量を確保している。

問 国の動向を踏まえ、市内の医療機関等における医療衛生機材の供給不足について伺う。

答 医師会や歯科医師会等を通して状況確認したが、一部医薬品や衛生資機材に入手しにくいものはあるものの、コロナ禍ほどの切迫した状況ではない。現時点の診療体制に大きな支障は生じていない。

ヒグマ対策と市民の安全確保について

問 全国各地で市街地に侵入する「アーバンベア」による人的被害が発生しているが、これは単なる鳥獣被害ではなく、都市型危機管理の新たな局面である。ヒグ

マ被害の予防対策と出没後対応など、総合的な対策が必要と考える。見解と今後の方針について伺う。

答 当市でも近年市街地での目撃情報が数多く寄せられており、人とヒグマの距離が近づいていると認識している。このことから、市街地にヒグマを入り込ませない対策が急務であり、昨年度「根室市ヒグマゾーニング計画」を策定し、家庭ごみの適正処理や出没時における対応訓練、市街地周辺エリアでの箱わなの設置による捕獲強化を地元猟友会をはじめ関係機関が共通理解を持って講じている。

一般
質問

日本共産党根室市議会議員団

鈴木 一彦 議員



物価高騰対策について

問 終わりの見えない物価高騰に加え、中東情勢の悪化による燃油高騰、ナフサ不足等が当市の基幹産業である酪農業、漁業にも大きな影響を及ぼしているのではないかと。現状についてどのように把握・分析されているのか、また対策についてどのようにお考えか。

答 農協や漁協を通じて影響の情報収集に努めている。漁業や酪農業を取り巻く経営環境は厳しく、先行きが不透明で、さらなる物価高騰や資材等の供給が不安定になる恐れがある。対策については道市長会を通じて国に強く要望する。

問 物価高騰は、すべての市民、事業所に影響を及ぼしている。市として全体的な対策をとるべきと考えるが、見解を伺う。

答 交付金など、国の物価高騰対策を見極めながら、効果的な対応をしてまいりたい。

JR花咲線の存続にむけた取り組みについて

問

「※黄色8線区」に対するJR北海道の方向性が不透明な状況ではあるが、現状をどのように把握されているか、また今後の方向性について見解を伺う。



答

JR北海道は現在、今後の進め方を国や道と調整している。花咲線は通学や通院など沿線地域の安全・安心な生活を守りながら、広域観光周遊ルートの形成に大きな役割を担う路線であるので、黄色8線区のみならず、道内の鉄路全体の持続的な維持について、道が主体的な役割を果たしながら国に働きかけることが極めて重要であり、地域の実情に寄り添った丁寧な議論を重ねることが必要であると考えている。

一般
質問

会派 紬

吉田 智和 議員



地域の安全を守るヒグマ対策

問

出没多発地域（落石・浜松・昆布盛地区）の安全対策をどう考えている？

答

市街地へのヒグマ侵入防止には緩衝帯の確保が重要であり、電気柵設置

や草刈りにより緩衝帯を設け出没防止を図る方針。今後も行動ルートを調査し対策を強化するとともに、講座等でゴミの適正処理を市民へ周知する。また、目撃・痕跡情報は速やかに学校や警察等と共有し、市SNS等で住民へ迅速に提供して注意喚起に努める。

問

緊急銃猟の体制整備とハンターへの支援策は？

答

緊急銃猟に伴う従事者の不安解消に向け、関係機関の共通認識のもと、財政面を含め不安なく従事できる環境を整備する。また、出没抑制と人材育成を目的に実施した春期管理捕獲では、GPSを携行しお互いの位置を把握しながら「巻き狩り」訓練を実施し、若手ハンターの技術向上と組織力を強化しており、今後も担い手の育成・確保に努める。

部活動等における安心安全な移動手段

問

地理的特性を踏まえた実効性のある支援はできないか？

答

【教育長】「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」等を通じて、子どもたちの全道・全国大会参加に係る交通費や宿泊費を助成しており、令和7年度は延べ209人が活用した。本制度では自家用車や公共交通機関、貸切バス等を対象とし、中学校体育連盟主催の大会にも支援している。今後も利用者の声を聞きながらより活用しやすいよう改正を重ね、実態を把握しつつ支援を継続していく。

問

より安全な移動体制の構築はできないか？

答

【教育長】国が進める休日部活動の地域展開において、移動手段の確保は重要である。しかし、燃料高騰や運転手不足等、金銭面のみでは解決困難な課題があるため、首長部局や関係機関と協議を深める。今後は道教委や国の動き、他自治体の事例を参考に、将来を見据えた体制構築について調査研究していく。

※「黄色8線区」：JR北海道が単独維持困難とする輸送密度200人以上2,000人未満の赤字8区間の通称。

一般
質問

市政クラブ

阿部 秀子 議員



根室市における熱中症対策について

問 近年の気温上昇により、涼しい根室市でも昨年は警戒アラート発表が2回あり、熱中症リスクが高まっている。国では、熱中症特別警戒アラート発表時の冷房設備の完備された施設、*クーリングシェルター開放制度が開始されており、道内自治体でも設置が進んでいるが、根室市として今後の酷暑の際の対応について伺う。

答 本市においても、熱中症対策の重要性は高まっており、市庁舎を始めとする冷房を備えた公共施設がその役割を担っており、気候変動適応法に基づく指定により、市民への周知・啓発が図られることから、公共施設の指定に向けた準備を進めてまいる。また、民間施設についても要件を満たす施設の把握、手続き対応を検討してまいる。

問 リスクの高い一人暮らしの高齢者の熱中症対応について伺う。

答 実態調査による生活状況や緊急連絡先の把握に努めるとともに、安否確認や緊急通報システムなど、必要な支援の体制づくりを進めている。チラシ等での周知、在宅時の予防行動など情報提供に努め、必要な助言等を行っていく。

意見 地域見守りボランティアや民生委員、町内会など身近な方が支え合う制度作りが大切と考える。

こども性暴力防止法施行に係る根室市の対応について

問 全国的に子どもが被害に遭っている事件が多く、子どもを守るべき大人が加害者となることは、子どもの心身の成長に大きく影響し、断じて許されない。今年12月から施行される法律について、根室市としてはどのような準備を進めているの

か伺う。

答 【教育長】本法律は、児童対象性暴力を防止する措置を義務付けするものであり、*コンプライアンス遵守のため、教職員研修などを通じて意識向上に努め、子どもたちが安全・安心に過ごせる環境づくりを進めてまいる。

一般
質問

会派 紬

須崎 和貴 議員



まちづくりへの理解促進、特に若い世代等の意見反映を

問 総合戦略の推進にはより幅広い市民の意見を聞く機会やまちづくりの方向性への理解促進を図る取り組みが一層重要と考えるが？

答 社会の価値観が多様化し人口構造も大きく変化する中、若い世代や子育て世代、女性をはじめ、より幅広い市民の皆様のご意見を施策に反映していくことが、ますます重要。社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう市民と行政が共に考え推進する体制を整えるなど、幅広い市民参加のもと「共創のまちづくり」を進めていく。

問 令和7年度市民意識調査では20歳代以下の認知度が低い施策や回答者数が少ない傾向と見受けられる。具体的な対策と高校生へのまちづくりアンケートの定期的な実施は？

答 有識者会議でも「高校生の時点で将来、活用が見込まれる支援策や根室ならではの強みを知っていれば、地元就職を目指す、あるいは進学後、戻ってこようという動機にも繋がることから、各種施策を広く周知することで認知度向上が図られ、更なる効果倍増に繋がる」とのご意見をいただいた。本調査は、インターネットを併用した回答方式を導入するなど、回答しやすい環境を整えた。高校生に対するまちづくりアンケートの

*クーリングシェルター開放制度：熱中症特別警戒情報（特別警戒アラート）が出た際に、市区町村長が指定した冷房設備付きの「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」を、住民が無料で暑さをしのげるよう開放する仕組み。

*コンプライアンス：自治体や企業等の組織が法令や内部規程、人権・ハラスメント防止などの社会的倫理を守りながら、公正・公平に行動するための仕組みと実践全体。

定期的な実施についても、調査・研究していきたい。

青少年対策でのAIやSNSへの対応は

問 青少年のAIやSNS利用状況をどのように把握されているか？何らかのトラブルがあった場合の対応はどうなっているか？

答 【教育長】直接的な把握調査を実施したことはないが、国の実態調査では、1日あたり小学生で平均3時間54分、中学生で5時間24分、高校生で6時間44分、生成AIも中学生で約3割、高校生で約5割が利用。詐欺や犯罪行為にも繋がりがねない体験を高校生の6割、中学生の5割、小学生も約3割が経験との報告がある。各学校では教育相談の充実を通して事案の早期発見に努め、事案発生後は教育委員会と学校が連携を密に当事者に寄り添った指導を行いつつ、家庭や場合によっては警察、児童相談所とともに丁寧な対応に努めている。

一般
質問

会派 紬

久保田 陽 議員



解体費用の増額とリフォーム費用の新設を！

問 初めて「空き家の相談窓口」に専任主査を配置したが、どの範囲まで相談対象とするのか。

答 所有者の特定から指導・助言の実施及び庁内関係部署の調整までを一元化する考えで、今年度中に根室市空家等対策計画の改定及び（仮称）空家対策等条例の制定を予定。先ず優先し※管理不良空家の対応強化をしたい。

問 当市の解体費用の助成金額は最大30万円だが、物価高騰もしかり時代に沿った助成金額に改定すべき。また、新築住宅価格の高騰により若年層を中心に新居の夢も遠ざかる。その代替策は空き家を再活用し※リノベーションすることである。

助成費用の新設を図り、若年層や移住交流、二地域居住施策など展開の活用を図れる。

答 国の調査で7割の空き家が旧耐震設計による要因から利活用可能は1割程度との調査結果があり、建築基準法や省エネ法等の改修内容も求められる場合もあり容易ではないと認識する。その上で、将来の管理不全空家を抑制する観点では意義があると承知しており、除却費用やリフォーム費用について空家等対策協議会にて専門家の意見も聞きながら検討したい。

これからの水産業養殖で安定供給を！

問 世界の漁獲量は約2億2,400万トン。うち養殖で水揚げされる量は約1億5千万トンに達する。一方、国内の水揚げ量は383万トン。養殖は85万トンと少ない。そこで今回、提案するのは「ベニザケ」や「トラウトサーモン」養殖に加え、ウニの畜養事業を積極的に進めることを求めたい。ウニの生産量は2002年に1万2,500トンだったが2023年には7,204トンと半減する一方で、価格は8千円台から2万2千円台で取引される。これらの水産業は養殖業など含み安定供給を図るべき。

答 近年畜養の取り組みが全国的広がりを見せる中、当市も栽培漁業センターにおいて種苗生産や放流事業に取り組むほか、身入向上の畜養試験や養殖用種苗の検討を進めている。今後も地域特性を活かしたウニ資源の有効利用を研究してまいりたい。

一般
質問

日本共産党根室市議会議員団

橋本 竜一 議員



市の創生総合戦略の意義と役割について

問 市の人口分析動態では、根室市は官公庁など20歳代後半の世代だけ市内への人口流入数が多くなる傾向。仕事で着任するので長く定着するわけではないが、若い時に根室に関わるきっかけが「関係人

※管理不良空家：適切に管理されておらず、このまま放置すると倒壊や衛生悪化などにより「特定空家等（市町村が指導・勧告・命令や行政代執行の対象とする空家）」に該当するおそれがある空き家。

※リノベーション：既存の建物に大規模な改修を行い、間取りや設備、性能などを刷新して新たな価値や暮らし方を生み出すこと。

口」という観点からも大事。こうした方々を含め若い世代へのアプローチが重要だ。

答 若い世代が転出後もこの地域の人々と多様に関わる可能性があり、※企業研修型ワーケーションの誘致やふるさと住民登録制度などの活用により、関係人口の創出拡大に結びつく取り組みを進める。

市営住宅の今後の整備の必要性について

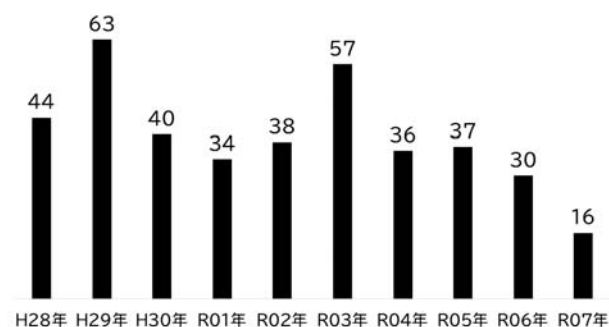
問 建て替えよりも修繕の予算を十分に確保し他の老朽化している市営住宅の環境を改善することに注力する必要がある。

答 財源や本市の実情を踏まえ、全ての団地ごとに適正な整備手法を選定する。

問 近年気温が上昇しており、網戸の設置など必要な設備も検討して頂きたい。

答 網戸設置の要否は、これから実施するアンケート調査で入居者の意向を勘案して財源等を含めて検討する。

根室市内における新築住宅着工件数の推移（件）
根室市建築住宅課が取りまとめた資料より
都市計画区域のみ。戸建住宅（併用含む）、共同住宅・長屋住宅の合計件数



来年度の介護保険計画の改定に向けて

問 市の介護保険料の基準額は据え置かれてきたが、次年度の次期計画期間の保険料の見通しは？

答 現行の保険料水準を維持できるか慎重に見極める必要がある。将来の保険料負担にも配慮が必要だ。

問 今後、市として重視している課題は何か？

答 認知症や軽度認知障害、一人暮らし、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう認知症予防や相談支援などについて検討していく必要がある。また介護サービスの担い手確保や業務負担の軽減について検討する。

一般質問

創志クラブ

佐野 晴彦 議員



西浜町墓地市民墓の管理状況と今後の対応について

問 高齢の一人暮らしの市民から、その方の子どものいる札幌や東京へ移住するため、根室市内の先祖代々の墓を墓じまいし、西浜墓地の市民墓（合葬墓）へ改葬したいとの相談があった。しかし、墓じまいには多額の費用がかかり、経済的な負担が課題となっている。近年は墓じまいをする人が増えており、今後も少子高齢化の進展に伴い、合葬墓の需要はさらに高まると考えられる。また、引き取り手のない遺骨の受け入れ先としての役割も期待される。現在の市民墓は、フェンスや献花台、ベンチの整備により利用環境が向上している一方、収容率はすでに約70%に達している。このため、新たな市民墓の建立も視野に入れ、現在の利用状況と今後の対応について市の考えを伺う。

答 少子高齢化や核家族化、お墓の管理・承継の負担増により、市民墓への合葬需要は今後も増加すると認識している。このため、市は現在の利用状況や納骨件数の推移を踏まえ、市民が安心して利用できるよう、将来の需要を見据えた新たな市民墓の整備を検討していく。また、再来年度までには新しい市民墓が必要になってくると思われるので、年度内に新設などの方向性を示すこととする。なお、新たな市民墓は現在の市民墓の近くを想定している。

※企業研修型ワーケーション：企業が主導して社員を対象に、通常の職場を離れた地域で研修・合宿・ワークショップなどを行い、チームビルディングや人材育成、地域理解を目的とするワーケーションの形態。

一般
質問

市民クラブ

本田 俊治 議員



太陽光発電事業について

問

5月29日に事業者から提出された事業計画の受理の判断については、適用される法令・条例等に基づく手続や基準の遵守等を確認、地域との合意形成の結果を踏まえ総合的に判断するとしている。これまで開催された住民説明会の参加者の声の多くは、景観や安全管理対策を理由にほぼ反対の立場であり、また、昨年12月以降、国の基準もかなり厳しくなっているが、今後、どのような判断・措置・対応等を想定しているのか。

答

説明会録画映像の確認、提出のあった報告書の内容について地域住民等への個別ヒアリングを進めた結果、地域との合意形成には至っていないものと判断、届出を不受理と決定した。地域住民等の意見を丁寧に聴取、説明を尽くすよう、引き続き、指導・助言をする。

北方領土問題について

問

返還要求運動の先行きは不透明であり、更なる長期化を考えたときに、

元島民の体験や記憶、北方四島への想いを次世代に受け継ぎ、正しい歴史認識の普及、後継者の育成に取り組む等、返還要求運動を将来にわたり持続、未来に繋げる、基盤・仕組みとして示された（仮称）ナショナルセンター「北方領土・知の拠点」構想の検討を市としても行うべき。

答

先般、千島連盟根室支部総会で示された本構想の概要は承知している。返還運動を将来にわたり持続させるための取り組みは大変重要。現段階では、千島連盟内部でも調整段階と聞いているが、その動向も踏まえ連携して検討したい。

人口減少問題について

問

新たな根室市創生総合戦略では、人口減少が続く中、定住人口や交流人口に加え、地域外に居住しながら継続的に地域と関わる「関係人口」を重要としているが、今年度スタートの「※ふるさと住民登録制度」をどのように捉えているのか、また、市独自の制度設計はいつ頃を目途としているのか。

答

国・北海道が示すガイドラインや先行事例、民間の支援事業の動向等を踏まえ、根室市とのかかわりの深化や関係人口の創出・拡大に繋がる制度の構築に取り組む。

議会の会議日程及び質疑内容等

5 月緊急議会 令和 8 年 5 月20日(水)《 1 日間 》

■ 5 月緊急議会において全会一致で可決された議案

議案	単行議案	財産の取得について（移動図書館車）
		財産の取得について（消防救急デジタル無線設備）

■ 5 月緊急議会において賛成多数で可決された議案

〔○：賛成、×：反対、－：欠席(退席)〕

議 件 名 ・ 意 見 書			創志	市政	会派紬	共産	市民	保坂
議案	条 例	根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○

■ 5 月緊急議会において報告された議件

報告	条 例	専決処分
		専決処分の報告について（根室市税条例の一部を改正する条例）

※ふるさと住民登録制度：実際に居住していなくても、任意で自治体の「住民」として登録できる仕組み。

○主な意見・質疑の内容

「根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

- ・国民健康保険税の算定にあたり、子ども・子育て支援納付金の新設された背景について
- ・子ども・子育て支援納付金新設に係る他の医療保険制度における負担増の状況と国民健康保険との比較について

6月定例月議会 令和8年6月16日(火)～6月19日(金)《4日間》

■6月定例月議会において全会一致で同意、可決された議案・意見書

議案	人 事	人権擁護委員候補者の推薦について
		根室市職員懲戒審査委員会委員の選任について
		根室市固定資産評価員の選任について
		根室市農業委員会委員の任命について
	条 例	根室市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例
		根室市消防職員任免及び服務に関する条例の一部を改正する条例
		根室市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
		根室市企業立地促進条例の一部を改正する条例
		根室市職員の特殊勤務手当に関する条例及び根室市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
		根室市財政調整基金条例等の一部を改正する条例
	単行議案	工事請負契約の締結について（厚床ふるさと館整備工事（建築主体））
		工事請負契約の締結について（厚床ふるさと館整備工事（機械設備））
		工事請負契約の締結について（根室市柏陵校区義務教育学校整備校舎棟工事（建築主体））
		工事請負契約の締結について（根室市柏陵校区義務教育学校整備校舎棟工事（電気設備））
		工事請負契約の締結について（根室市柏陵校区義務教育学校整備校舎棟工事（機械設備））
		財産の取得について（除雪グレーダー）
		財産の取得について（消防団員用防火服）
		財産の取得について（化学消防ポンプ自動車）
		辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について
		議員派遣について〔追加議案〕
		議員派遣について〔追加議案〕
	予算関係	令和8年度根室市一般会計補正予算（第1号）
意見書案		ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
		ドナーミルクの利用拡大を求める意見書
		急騰する奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書

■6月定例月議会において賛成多数で可決された意見書

〔○：賛成、×：反対、－：欠席(退席)〕

議 件 名 ・ 意 見 書		創志	市政	会派軸	共産	市民	保坂
意見書案	地方財政の充実・強化に関する意見書	×	○	×	○	○	○

■ 6 月定例月議会において報告された議件

議 件 名		
報告	予算関係	令和 7 年度根室市一般会計繰越明許費繰越計算書について
		令和 7 年度根室市一般会計継続費繰越計算書について
		令和 7 年度根室市水道事業会計予算繰越計算書について〔追加提出〕
		令和 7 年度根室市水道事業会計継続費繰越計算書について〔追加提出〕
		専決処分の報告について（令和 7 年度根室市一般会計補正予算（専決第 1 号））
		専決処分の報告について（令和 7 年度根室市後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第 1 号））
		専決処分の報告について（令和 8 年度根室市一般会計補正予算（専決第 1 号））

○主な議案・質疑の内容

●総務経済常任委員会（審査件数：9 件）

「根室市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例」

- ・損害賠償責任の一部免責を設ける条例制定理由について
- ・公務員として損害賠償訴訟問題となった根室市の事例及び他都市の実例について

「根室市消防職員任免及び服務に関する条例の一部を改正する条例」

- ・消防職員の職員定数及び現行職員数並びに欠員状態が続く環境下における勤務等について
- ・近年の採用環境の認識及び年齢引き上げによる効果について

「根室市企業立地促進条例の一部を改正する条例」

- ・税制優遇措置の対象条件について
- ・条例改正による企業誘致の効果及び期待感等について

「根室市職員の特殊勤務手当に関する条例及び根室市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」

- ・危険動物捕獲等従事者の具体的業務内容について
- ・危険動物捕獲等業務に係る特殊勤務手当額のあり方について

「根室市財政調整基金条例等の一部を改正する条例」

- ・現基金25件に係る基金残高の総額について
- ・現行の基金運用と改正後の運用益金の差、及び運用益金の活用方法について

「財産の取得について（消防団員用防火服）」

- ・今後の整備見通し及び必要性や優先順位等について
- ・消防団退団員や入団員に対する防火服貸与の考え方について

「財産の取得について（化学消防ポンプ自動車）」

- ・化学消防ポンプ自動車配備の法的根拠、基準について
- ・化学力を生かした化学消防ポンプ自動車の出動実績について

●文教厚生常任委員会（審査件数：6 件）

「根室市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例」

- ・根室市の外国人登録者数及び印鑑登録カードを所有する外国人登録者数について
- ・在留カードとマイナンバーカードの一体化に係る今後の対応及び取り扱い方針等について

「工事請負契約の締結について（厚床ふるさと館整備工事（建築主体））」

「工事請負契約の締結について（厚床ふるさと館整備工事（機械設備））」

- ・厚床ふるさと館における監視カメラの設置数及び設置場所について

「工事請負契約の締結について（根室市柏陵校区義務教育学校整備校舎棟工事（建築主体））」

「工事請負契約の締結について（根室市柏陵校区義務教育学校整備校舎棟工事（電気設備））」

「工事請負契約の締結について（根室市柏陵校区義務教育学校整備校舎棟工事（機械設備））」

- ・柏陵校区義務教育学校整備に係る今後のバス寄せ設置のスケジュールについて
- ・柏陵校区義務教育学校整備に係る通学路の交通安全対策の考え及び今後の対応等について

●予算審査特別委員会（審査件数：1 件）

「令和 8 年度根室市一般会計補正予算（第 1 号）」

- ・備荒資金超過納付金から財政調整基金等への組み替えに係る割振りの考え方並びに経緯・経過について
- ・地域こどもの生活支援強化事業に係る図書館内の衛生環境及び飲食スペースの確保について
- ・生活保護費追加支給申請が困難な事例に係る相談及び対応について
- ・じん芥焼却場整備工事費に係る当初予算額も含めた全体の予算規模及び今後の見通しについて

全国市議会議長会より議員が表彰されました

令和8年5月27日に東京都で開催された「第102回全国市議会議長会定期総会」において、全国市議会議長会表彰規程に該当する議員が表彰されました。表彰は市議会議員の職にある者又はあった者がその年数に応じて表彰され、6月16日開催の6月定例会月議会開会前に表彰状を伝達しました。

今回表彰された議員は次のとおりです。

- ◆議員30年以上特別表彰 遠藤 輝宣 議長
- ◆正副議長4年以上表彰 工藤 勝代 副議長



議会活動

北海道議会議長会に根室市選挙区維持を要望してまいりました

5月12日午前10時から根室市選出の道議を維持する会、根室市、根室町村会及び根室市議会が北海道議会議長会を訪問し、北海道議会議員選挙における根室市選挙区の区域維持に係る要望を行いました。

要望先は北海道議会議長、道議会議員定数等検討協議会座長及び道議会各会派であり、根室市議会から遠藤議長、工藤副議長、各会派代表及び各党派代表の8名が参加し、北方領土返還運動原点の地である根室市の選挙区を維持するよう求めました。

伊藤議長をはじめとした北海道議会の皆様、関係機関の皆様におかれましては、この度の懇切丁寧なご対応等、誠にありがとうございました。

また、本要望にご参加された各団体の皆様、大変お疲れ様でございました。



和田屯田兵村の被服庫を見学しました

明治18年頃に建設されて以来、約140年もの長きにわたって和田地区の歴史を見守り続け、昭和43年には北海道指定有形文化財に指定された和田屯田兵村の被服庫が、先般保存修理工事が完了したことから、市議会で見学会に参加してまいりました。

本施設のこれまでの歴史、保存工事に至った経緯や工事内容のほか、今後の整備スケジュール等について市教委担当課から説明を受けながら見学しました。

市教委担当課をはじめ、和田屯田歴史保存会等関係機関の皆様におかれましては、この度の懇切丁寧なご対応等、誠にありがとうございました。



委員会活動

【総務経済常任委員会】

- 委員協議会（令和 8 年 5 月19日）
 - ・市長部局からの報告事項
「第 3 期根室市創生総合戦略について」
 - ・市長部局との情報共有について
「J R 花咲線について」
 - ・その他協議事項
「行政視察について」
- 委員協議会（令和 8 年 6 月18日）
 - ・協議事項
「行政視察について」



【文教厚生常任委員会】

- 委員協議会（令和 8 年 4 月13日）
 - ・市立根室病院からの報告事項
「市立根室病院経営強化プランについて」
 - ・協議事項
「令和 8 年度における委員会活動について」

【議会 ICT 推進検討委員会】

- 委員協議会（令和 8 年 5 月15日）
 - ・協議事項
「本会議の音声データを管理するWebサイトの活用について」
「ビデオ会議環境の契約と活用テストについて」
「動画配信の接続テストについて」
「ペーパーレス会議システムの活用について」ほか



令和 8 年度文教厚生常任委員会行政視察

6 月30日、長野県塩尻市を視察し、「市立榑川小中学校」では比較的規模の大きい義務教育学校での学習活動等の状況を、「市民交流センターえんぱーく」では複合型施設整備の経過などを学びました。

7 月 1 日、公民館活動の先進地である同県飯田市の 3 つの公民館を訪問し、住民が主体となった自治活動や、地域の担い手育成など実際に携わっている方の生の声を伺いました。



飯田市竜丘公民館

議会報告会を開催しました

令和8年5月20日(水)の午後7時から市役所2階防災研修室において、令和8年度議会報告会を開催し、29人の市民の皆さまにご参加いただきました。常任委員会や特別委員会、議会運営委員会、議会ICT推進検討委員会の各委員長から昨年度の活動について報告を行った後、参加された方々からの質疑応答や意見交換を行いました。意見交換では、「柏陵校区義務教育学校化に伴う児童生徒の通学路の安全確保」、「北方領土返還要求運動」や「これからの街づくり」など、現在市が抱える課題や今後の取り組みについて様々な意見、ご提言等をいただきました。

平日夜のお忙しい時間帯にもかかわらず、本報告会に多数ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

市議会といたしましても、皆様からのご意見、ご提言等をしっかりと受け止め、さらなる議会活動の活性化、市政の発展に取り組んでまいります。



根室市議会からのお知らせ

●今後の議会開催(予定)

▶10月開会議会：10月上旬

※日程等の詳細は、議会運営委員会において決定後、市議会ホームページ及びフェイスブックでお知らせいたします。

●本会議・委員会の傍聴について

= 根室市議会は市役所4階です =

議会の本会議や各委員会は傍聴することができますので、ぜひお気軽にお越しください。

●市議会ホームページとフェイスブックページのご案内

根室市議会は「市民に開かれた議会」を目指す議会改革の取り組みとして、市議会ホームページ、フェイスブックページを開設し、市議会のさまざまな活動などを積極的に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。



■ホームページ



■フェイスブックページ

■市議会ホームページ

根室市議会

検索

■フェイスブックページ <https://www.facebook.com/nemuro.shigikai>

議員の発言と発言時間

議員には一般質問や議案に対する質疑をはじめ、討議、議事進行発言、動議や一身上の弁明など様々な発言機会があります。

議員が本会議で発言する場合は、あらかじめ議長に発言通告書を提出することが義務付けられています。根室市議会の場合、代表質問、一般質問については、このルールに基づき事前に文書で通告を行っています。発言通告書を提出することにより、発言項目の事前確認作業等を議会運営委員会において行い、効率的な議会運営に努めています。

発言時間については、議員一人ひとりに、代表質問は答弁を除き45分以内、一般質問は答弁を除き30分以内、本会議場における議案審査も答弁を除き30分以内、当初予算審査・決算審査は、一般会計は歳入歳出各款別に答弁を含め60分、各特別会計・各事業会計は会計毎に答弁を含め60分が割り当てられています。なお、各常任委員会の議案審査に関しては、時間の定めはなく、何度でも発言ができることになっています。

与えられたこの発言機会・発言時間を活かし、様々な課題の解決、まちづくり推進のために、質疑を重ねることが求められています。